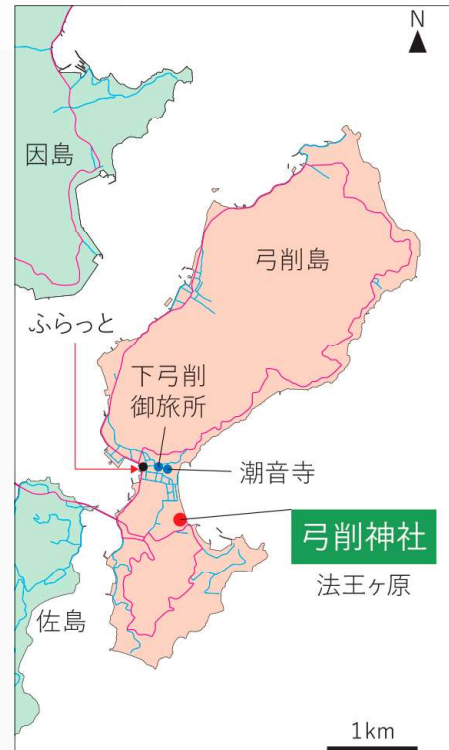


第6回 史跡弓削島荘遺跡 探訪・散策講座

トンボロを歩きながら、下弓削の歴史文化と景観を堪能しよう！

行程

- 10:20 開会、趣旨説明
 10:25頃 上島町ゆげ海の駅舎「ふらっと」出発
 ↓(徒歩)
 10:40頃 下弓削御旅所(おどり場)、だんじり小屋
 (愛媛県越智郡上島町弓削下弓削380・381番地)
 ↓(徒歩)
 10:50頃 潮音寺(愛媛県越智郡上島町弓削下弓削400番地)
 ○ 木造地藏菩薩坐像、柏楨(ビャクシン)
 ↓(徒歩)
 11:20頃 国指定史跡弓削島荘遺跡 構成資産(史跡指定地)
 弓削神社
 ○ 木造師(獅)子狛犬、棟札
 愛媛県指定名勝 法王ヶ原
 (愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1002番地)
 ↓(徒歩)
 12:00頃 上島町ゆげ海の駅舎「ふらっと」 閉会



3.だんじり小屋の説明



2.下弓削旧商店街



1.弓削港旧棧橋



6.下弓削の「ワタリ」説明



5.潮音寺の柏楨(ビャクシン)



4.潮音寺の木造地藏菩薩坐像見学



9.弓削神社・法王ヶ原



8.弓削商船学校本館跡 説明



7.下弓削の「タカミチ」付近 散策



12.弓削神社の木造師(獅)子狛犬



11.弓削神社の棟札



10.弓削神社の棟札の説明

第6回 史跡弓削島荘遺跡 探訪・散策講座

トンボロを歩きながら、下弓削の歴史文化と景観を堪能しよう！



「トンボロ」・・・陸地とそれに近い島をつなぐ砂州のことをトンボロ(陸繋砂州)といいます。

第6回となる探訪・散策講座では、弓削島にある下弓削地区の町並みや、国指定史跡「弓削島荘遺跡」の構成資産である弓削神社など、下弓削地区にのこる歴史的な景観を中心に散策しました。

散策中は、参加者と一緒に下弓削の古写真を確認しつつ、現在の景観とを見比べながら歩きました。下弓削地区からの参加者が多く、子どもの頃の景観を覚えていた方もいたことから、参加者の話しから教わることも沢山ありました。

今回の講座では、海の駅舎「ふらっと」に集合し、下弓削御旅所・だんじり小屋、潮音寺(木造地藏菩薩坐像、ビャクシン)、ワタリ、弓削神社というコースを散策しました。かつて渡船が発着していた場所では、現在でも秋祭りや神輿やダンジリが巡行する際に太鼓や鐘をゆつくりと叩き、このことは「ワタリを打つ」と呼ばれています。

参加者の中には「太鼓の打ち方が違う意味がわかりました。」との声がありました。

ゴールとなる弓削神社では、神社に伝わる木造師(獅)子狛犬や、延宝・享保・元文年間および明治時代に作られた棟札を見学しました。弓削神社では境内で休憩させていただき、参加者と一緒に宮司さんとお話をするなど、楽しく交流することができました。

今後も、史跡のガイドを中心とした散策講座を開催していく予定です。お気軽にご参加ください。

史跡弓削島荘遺跡 探訪・散策講座

令和8年7月11日(土)

参加者 13名

